



レプトスピラ症にご注意ください



レプトスピラ症は、病原性レプトスピラという細菌によって引き起こされる人獣共通感染症です。

レプトスピラ症は、菌を保菌する動物の尿に汚染された水や土壌との接触により感染します。

福岡県内では、川で泳いだ後にレプトスピラ症を発症した事例が見つかっています。



症 状

- ・感染してから5～15日後に、発熱、頭痛、筋肉痛、目の充血などの症状が現れます。重症化すると黄疸や腎不全などの症状が出ることもあります。

感染経路

- ・菌を保菌している動物(げっ歯類、野生動物、家畜、犬など)の尿や、尿に汚染された水や土壌と接触した際に、皮膚の傷や粘膜から体内に菌が侵入することで感染します。
- ・河川での遊泳やレジャー、農作業や洪水後の作業の際に感染することがあります。

予防方法



大雨や洪水の後は
川に入らない



皮膚に傷がある時は
川に入らない



川の水を飲まない



感染が疑われる
動物の尿には直接
触らない

思い当たる行動や症状がある場合は、**医療機関に相談・受診**してください。

